

会計検査院における就職氷河期世代の国家公務員中途採用の方針について

1 会計検査院における採用の全体像

会計検査院においては、国家公務員中途採用者選考試験（就職氷河期世代）を活用し、令和8年度から10年度までの3年間で1年当たり1名の採用を目指す。加えて、既存の経験者採用等の取組も着実に継続する。

2 会計検査院が求める人材像・職種

就職氷河期世代の国家公務員中途採用に当たって会計検査院が求める人材像としては、本申合せの「(就職氷河期世代試験について) 3」の(1)から(3)までに掲げるような方に加え、以下のような方を想定している。

- (1) 会計検査業務に対する意欲があり、研修により同業務を行う能力の発揮が期待される方
- (2) 会計、簿記に関する知識を有する方
- (3) デジタル、土木・建築などの技術に関して知識を有する方

3 会計検査院における研修等の方針

採用後、公務に円滑に取り組めるよう、個々の職員の希望や能力等を踏まえつつ、現に会計検査院において設けている(1)及び(2)を始めとした多様な研修機会に参加させ、また、(3)に掲げる育成の機会を設けることとする。

(1) 新採用研修【採用1年目の4月に受講】

公務員としての心構えを養い、併せて会計検査院職員として必要な一般知識及び職場への適応性を付与することを目的として、新採用職員を対象として実施する研修

(2) 実務研修（基礎）【原則として採用1年目に受講】

会計検査実務に必要な法令、制度等に関する基礎的知識を習得させることを目的として、会計検査実務に携わる職員を対象として実施する研修

(3) オンボーディング支援策

個々の職員の事情や希望を聞き取るために意向確認の実施や面談機会を拡充するなどの支援